

直腸腫瘍および肛門括約筋機能不全手術の術中画像を用いた AI 機械学習による手術支援や手術指導を行うソフトウェアおよびデバイスの開発

【研究課題】

直腸腫瘍および肛門括約筋機能不全手術の術中画像を用いた AI 機械学習による手術支援や手術指導を行うソフトウェアおよびデバイスの開発

【研究対象】

2023 年以前に当院で直腸腫瘍および肛門括約筋機能不全について手術施行された症例の匿名化された術中写真 71 枚と 2024 年 8 月から 2029 年 7 月の期間に当院で同疾患に対し手術を施行した患者さんの匿名化した術中ビデオ。

【研究目的】

当院では全国でも有数の直腸腫瘍および肛門括約筋機能不全に対する外科治療を行っており、高い成功率により評価を得ている。一方、他施設で同様の手術を試みても十分な治癒率が得られていない。手術の要点のうち、左右に離断した会陰体の肉眼での同定が困難であることが挙げられる。当院の手術画像を用いて AI 機械学習を用いて術中に会陰体をリアルタイムで描出し、手術を支援、指導できるデバイス開発を外部施設とともに研究開発を行うもの。

【共同研究施設】

機械学習等:福岡工業大学情報工学部 情報システム工学科

【公表・発表予定】

2024 年 11 月の日本コンピュータ外科学会大会で初回報告。以後の成果についても順次講演、論文発表を予定している。

【データ取扱責任者】副院長・外科部長 村上耕一郎

【分担研究者】福岡工業大学 徳安達士 教授

【お問い合わせ先】副院長・外科部長 村上耕一郎 tel: 075-955-1151

ご自身の診療情報利用の中止をご希望の場合、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
ご氏名、生年月日、受診年度をお伝えいただき、本人確認がとれ次第データ削除します。